学校法人 大阪成蹊学園

Brand Design Manual

[建学の精神]

桃李不言下自成蹊

桃李(とうり)もの言わざれども下おのずから蹊(こみち)を成す

「成蹊」の名称は、中国の司馬遷の『史記』に由来しています。
「桃や李は何も言わないが、その美しい花や実にひかれて人が集まってくるので
木の下には自然と小道（蹊）ができる」という意味です。
徳が高く、尊敬される人物のもとには徳を慕って人々が集まってくるという譬(たと)えです。
本学では、『史記』の一節であるこの言葉を「建学の精神」として、
徳があり、人に慕われ、信頼される人を育てることを教育の目標としています。

[行動指針]

忠恕(ちゅうじょ)

夫子の道は忠恕のみ

「忠」は誠実、「恕」は思いやりをあらわし、誠を尽くし人の立場になって考え行動するという意味です。
本学では、建学の精神を実践するにあたり、「忠恕」を行動の指針としています。

はじめに

このマニュアルは、平成30年7月、大阪成蹊学園創立85周年を記念し策定された、大阪成蹊学園、および学園各校園の学章・シンボルマーク・ロゴタイプ・シンボルカラー（以下、これらを総称して「シンボルマーク等」と呼ぶ）の概要および使用上のルールをまとめたものです。

このマニュアルは、ビジュアル的に統一されたシンボルマーク等を適切に使用していただく目的で規定したものです。適切な使用を行うことで、本学園のブランド、建学の精神を広く社会に浸透させ、魅力的な学園のイメージ作りに貢献します。

紙媒体の広報物だけでなく、WEBサイト、プレゼンテーション用映像、グッズ類、看板等に至るまで、シンボルマーク等を使用する全てのケースにおいて、このマニュアルを熟読の上遵守していただくようお願いいたします。

学校法人 大阪成蹊学園　広報企画本部

INDEX

建学の精神・行動指針

01 はじめに

03 シンボルマーク等
使用上の注意事項

大阪成蹊学園 学章

04 **1-1.** コンセプト
05 **1-2.** シグネチュア
06 **1-3.** 配置
07 **1-4.** 基本カラー
08 **1-5.** 背景濃度に応じた使用
09 **1-6.** 住所・部署との併記組み合わせ
10 **1-7.** 大阪成蹊学園
コミュニケーションマークの使用について

大阪成蹊大学 シンボルマーク等

11 **2-1.** コンセプト
12 **2-2.** シグネチュア
13 **2-3.** 配置
14 **2-4.** 基本カラー
15 **2-5.** 背景濃度に応じた使用
16 **2-6.** 住所・部署との併記組み合わせ

びわこ成蹊スポーツ大学 シンボルマーク等

17 **3-1.** コンセプト
18 **3-2.** シグネチュア
19 **3-3.** 配置
20 **3-4.** 基本カラー
21 **3-5.** 背景濃度に応じた使用
22 **3-6.** 住所・部署との併記組み合わせ

大阪成蹊短期大学 シンボルマーク等

23 **4-1.** コンセプト
24 **4-2.** シグネチュア
25 **4-3.** 配置
26 **4-4.** 基本カラー
27 **4-5.** 背景濃度に応じた使用
28 **4-6.** 住所・部署との併記組み合わせ

大阪成蹊女子高等学校 シンボルマーク等

29 **5-1.** コンセプト
30 **5-2.** シグネチュア
31 **5-3.** 配置
32 **5-4.** 基本カラー
33 **5-5.** 背景濃度に応じた使用
34 **5-6.** 住所・部署との併記組み合わせ
35 **5-7.** SSマークの使用について

大阪成蹊短期大学附属こみち幼稚園 シンボルマーク等

36 **6-1.** コンセプト
37 **6-2.** シグネチュア
38 **6-3.** 配置
39 **6-4.** 基本カラー
40 **6-5.** 背景濃度に応じた使用
41 **6-6.** 住所との併記組み合わせ

42 **7.** 全校併記の場合
43 **8.** 背景別推奨方法
44 **9.** 表示禁止例

シンボルマーク等
使用上の注意事項

広報企画本部では、広報物・備品・アプリケーションにおいてシンボルマーク等が適切に使用されているかどうか、
またどのような目的で使用されているかを把握させていただきます。
各種広報物・備品・アプリケーションを制作する際は、下記のルールに従って事前申請・回覧を行ってください。
※シンボルカラーのみを使用する場合も含みます。

シンボルマーク等を使用した広報物を制作する場合

■学内（学生・教職員）向け広報物
広報企画本部への申請・回覧の規定はありません。各制作部署の責任において、決裁・作成・管理等を行ってください。

■学外向け広報物
学外への配布・掲出を行う広報物を作成する場合は、平成29年より実施されている規定に従い、
広報企画本部への報告・校正依頼および決定書の回覧を行ってください。
（詳細は「広報に関する制作物の管理運用規定（平成29年9月14日制定）」をご確認ください。）

シンボルマーク等を使用した備品・アプリケーションを制作する場合

シンボルマーク等を使用して、印刷物以外の備品・アプリケーションを制作する場合は（既存の備品・アプリケーションのデザイン改訂含む）、
初回の制作時のみ、下記の手順で広報企画本部に事前申請をお願いします。広報物とは異なり、学内使用のみの場合も含みます。

■備品・アプリケーション制作の手順

おおよその配置や使用イメージがわかるパワーポイントやPDFデータ
を添付して使用許可申請書を提出

▼

申請受理後、備品・アプリケーションを制作
（不許可の場合、デザイン案を再提出）

▼

備品・アプリケーション 完成
完成品サンプルを広報企画本部に提出
※完成品の提出が難しい場合は、写真撮影を行い、データを提出する

シンボルマーク等のデータ、使用許可申請書について

シンボルマーク等のデータ、および名刺・封筒・紙袋の
基本アプリケーションのデータ、使用許可申請書フォーマットは下記でダウンロードできます。

http://osaka-seikei.jp/inside/

※学内からのみダウンロード可能

担当窓口
学校法人 大阪成蹊学園　広報企画本部
電話：06-6829-2606　FAX：06-6829-2747　Email：kouhou@osaka-seikei.ac.jp

1-1. コンセプト

学章は「成蹊（こみちを成す）」の蹊を桃の花でかこみ、幾筋かの「こみち」ができあがっていく姿をあらわすものです。
また相川キャンパスのそばに位置する安威川の清流が学園をめぐって流れる様子もあらわしています。

基本形シグネチュア

学校法人
大阪成蹊学園

1-2. シグネチュア

基本形シグネチュア以外の学章とロゴタイプの組み合わせは下記のいずれかを使用するものとします。
原則としてこれ以外の組み合わせを作成、使用することはできません。
また、学章とロゴタイプを個別に拡大・縮小することもできません。
学章・ロゴタイプ単体での使用はできるだけ避け、原則セットで使用します。

和文シグネチュア

学校法人 大阪成蹊学園

和文＋英文シグネチュア

学校法人 大阪成蹊学園
OSAKA SEIKEI GAKUEN

英文シグネチュア

OSAKA SEIKEI GAKUEN

縦表記・和文シグネチュア

学校法人
大阪成蹊学園

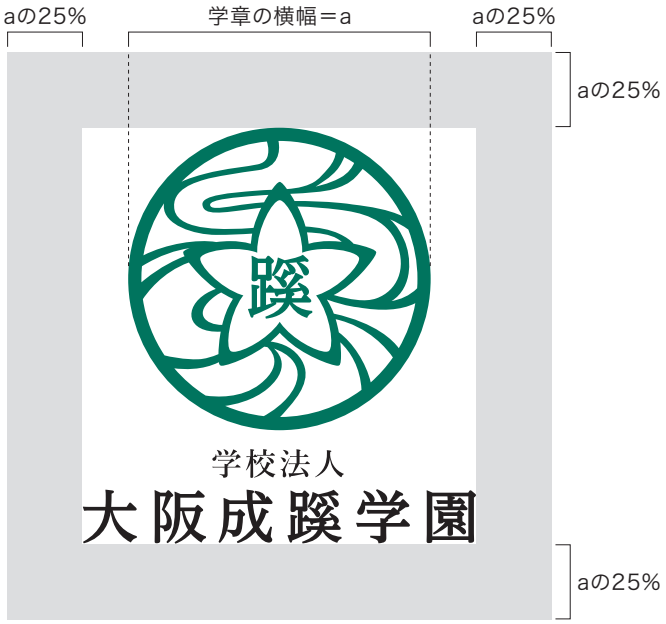
1-3. 配置

学章の視認性を確保するため以下の規定を守ってください。

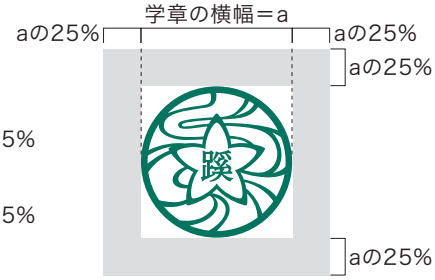
アイソレーションエリア

学章を配置する際は、学章への干渉を防ぐため最小限確保すべき余白（アイソレーションエリア）を規定しています。
原則として他の要素をこの余白内に配置しないようにしてください。ただし、部局などの名称、連絡先と組み合わせる場合や、
限られたスペースに配置する必要があり、かつ視認性が十分に確保できる場合はこの規定は適用されません。

■ 全て、学章の横幅の25%の余白を四方にとることとします。



学章単体の場合



最小サイズ

学章の視認性を確保するため、下記の最小使用サイズより小さなサイズでは使用しないでください。

1-4. 基本カラー

基本は学章をシンボルカラー、ロゴタイプを黒とします。

シンボルカラー

プロセスカラー／
C100% M16% Y69% K27%
特色／
DIC N863

ロゴタイプカラー

プロセスカラー／
C0% M0% Y0% K100%
特色／
DIC 582

※使用の際はカラーチップも併せてご確認ください

基本カラー

シンボルカラーのみ

カラー背景 白抜き

モノクロ背景 白抜き

1-5. 背景濃度に応じた使用

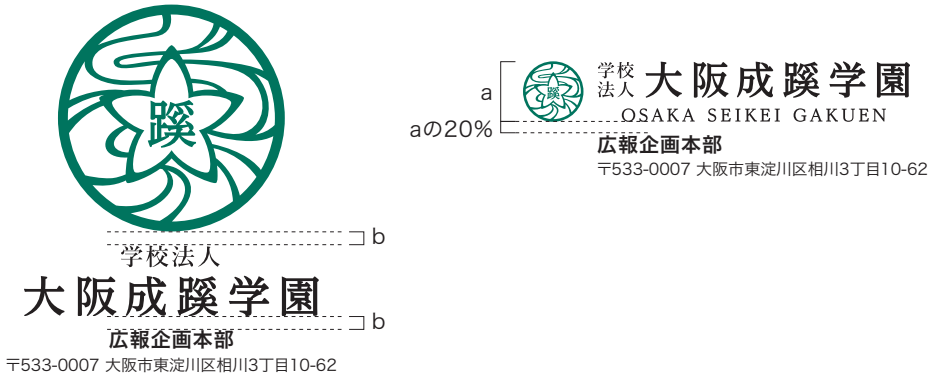
学章の視認性を確保するため、
下記に示すように背景濃度に応じてカラーを使い分けてください。

	カラー背景	モノクロ背景	
10%			10%
25%			25%
50%			50%
75%			75%
100%			100%

1-6. 住所・部署との併記組み合わせ

住所などの連絡先を加える場合は下記の例を参考にしてください。
書体はヒラギノ角ゴシックなど標準的なゴシック体を推奨します。

部署名がある場合



ロゴマークを持つ部署の場合

1-7. 大阪成蹊学園 コミュニケーションマークの使用について

下記のマークについては、大阪成蹊学園のコミュニケーションマークとして
学園主催のイベントや、複数の学園設置校園に関わる広報物・備品・アプリケーションにおいて使用可とします。

2-1. コンセプト

建学の精神に通じる「人間力」への想いを込め、人という文字を花びらにデザイン化し、
それが集まって咲く桃の花をエンブレム化しています。
深みのある濃紺カラーは、知的で誠実な人物像をイメージしています。

基本形シグネチュア

2-2. シグネチュア

基本形シグネチュア以外のシンボルマークとロゴタイプの組み合わせは下記のいずれかを使用するものとします。
原則としてこれ以外の組み合わせを作成、使用することはできません。
また、シンボルマークとロゴタイプを個別に拡大・縮小することもできません。
シンボルマーク・ロゴタイプ単体での使用はできるだけ避け、原則セットで使用します。

和文シグネチュア

大阪成蹊大学

和文＋英文シグネチュア

大阪成蹊大学
OSAKA SEIKEI UNIVERSITY

英文シグネチュア

OSAKA SEIKEI
UNIVERSITY

縦表記・和文シグネチュア

大
阪
成
蹊
大
学

2-3. 配置

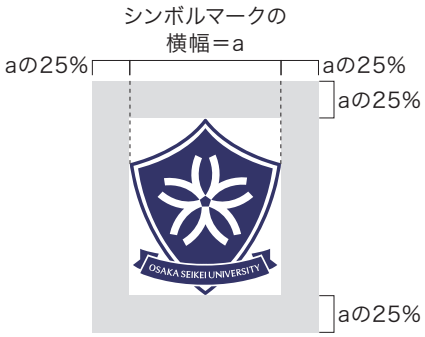
シンボルマーク等の視認性を確保するため以下の規定を守ってください。

アイソレーションエリア

シンボルマーク等を配置する際は、シンボルマーク等への干渉を防ぐため最小限確保すべき余白（アイソレーションエリア）を規定しています。
原則として他の要素をこの余白内に配置しないようにしてください。
ただし、部局などの名称、連絡先と組み合わせる場合や、限られたスペースに配置する必要があり、
かつ視認性が十分に確保できる場合はこの規定は適用されません。

■ 全て、シンボルマークの横幅の25%の余白を四方にとることとします。

シンボルマーク単体の場合



最小サイズ

シンボルマーク等の視認性を確保するため、下記の最小使用サイズより
小さなサイズでは使用しないでください。

2-4. 基本カラー

基本はシンボルマークをシンボルカラー、ロゴタイプを黒とします。

シンボルカラー

プロセスカラー／
C100% M100% Y45% K0%
特色／
DIC 435

ロゴタイプカラー

プロセスカラー／
C0% M0% Y0% K100%
特色／
DIC 582

※使用の際はカラーチップも併せてご確認ください

基本カラー

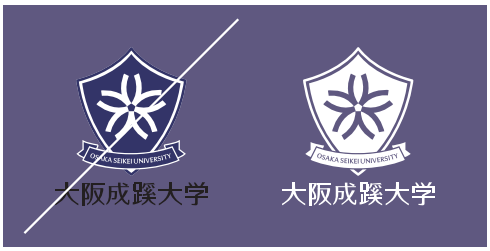
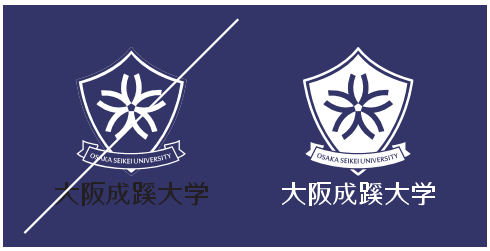
シンボルカラーのみ

カラー背景 白抜き

モノクロ背景 白抜き

2-5. 背景濃度に応じた使用

シンボルマーク等の視認性を確保するため、
下記に示すように背景濃度に応じてカラーを使い分けてください。

	カラー背景	モノクロ背景	
10%			10%
25%			25%
50%			50%
75%			75%
100%			100%

2-6. 住所・部署との併記組み合わせ

住所などの連絡先を加える場合は下記の例を参考にしてください。
書体はヒラギノ角ゴシックなど標準的なゴシック体を推奨します。

学部名、部署名がある場合

3-1. コンセプト

中央のスポーツをしている人物像は性別の区別や、特定のスポーツをあらわしているのではなく、
どのようなスポーツにでも当てはまり、未来に向かっての躍動感を表現しています。
また、人物像の下の波とセルリアンブルー系の配色は、琵琶湖をイメージしています。

基本形シグネチュア

BIWAKO SEIKEI SPORT COLLEGE

びわこ成蹊スポーツ大学

3-2. シグネチュア

基本形シグネチュア以外のシンボルマークとロゴタイプの組み合わせは下記のいずれかを使用するものとします。
原則としてこれ以外の組み合わせを作成、使用することはできません。
また、シンボルマークとロゴタイプを個別に拡大・縮小することもできません。
シンボルマーク・ロゴタイプ単体での使用はできるだけ避け、原則セットで使用します。

和文シグネチュア

びわこ成蹊スポーツ大学

和文＋英文シグネチュア

びわこ成蹊スポーツ大学
BIWAKO SEIKEI SPORT COLLEGE

英文シグネチュア

BIWAKO SEIKEI
SPORT COLLEGE

縦表記・和文シグネチュア

びわこ成蹊スポーツ大学

3-3. 配置

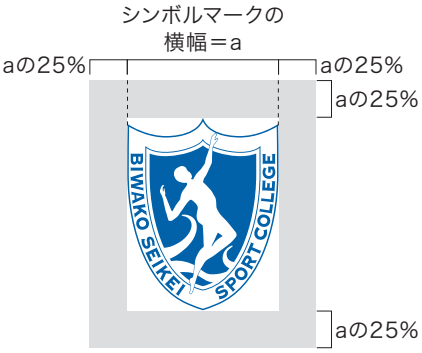
シンボルマーク等の視認性を確保するため以下の規定を守ってください。

アイソレーションエリア

シンボルマーク等を配置する際は、シンボルマーク等への干渉を防ぐため最小限確保すべき余白（アイソレーションエリア）を規定しています。
原則として他の要素をこの余白内に配置しないようにしてください。
ただし、部局などの名称、連絡先と組み合わせる場合や、限られたスペースに配置する必要があり、
かつ視認性が十分に確保できる場合はこの規定は適用されません。

■ 全て、シンボルマークの横幅の25%の余白を四方にとることとします。

シンボルマーク単体の場合



最小サイズ

シンボルマーク等の視認性を確保するため、下記の最小使用サイズより
小さなサイズでは使用しないでください。

3-4. 基本カラー

基本はシンボルマーク、ロゴタイプ共、シンボルカラー1色とします。

シンボルカラー

プロセスカラー／
C100% M63% Y5% K0%
特色／
DIC 220

※使用の際はカラーチップも併せてご確認ください

基本カラー

びわこ成蹊スポーツ大学

びわこ成蹊スポーツ大学
BIWAKO SEIKEI SPORT COLLEGE

BIWAKO SEIKEI
SPORT COLLEGE

びわこ成蹊スポーツ大学

カラー背景 白抜き

びわこ成蹊スポーツ大学

びわこ成蹊スポーツ大学
BIWAKO SEIKEI SPORT COLLEGE

BIWAKO SEIKEI
SPORT COLLEGE

びわこ成蹊スポーツ大学

モノクロ背景 白抜き

びわこ成蹊スポーツ大学

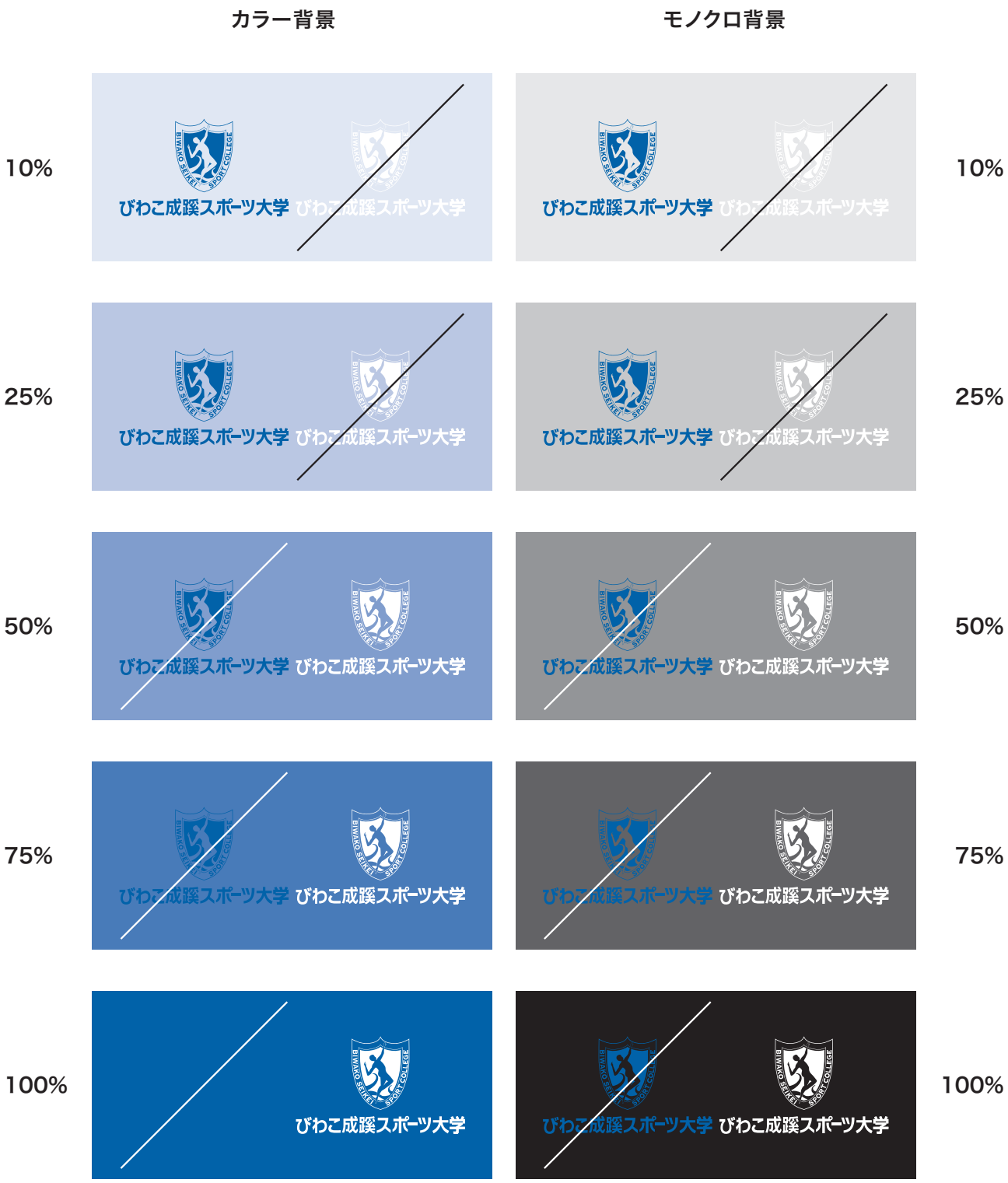
びわこ成蹊スポーツ大学
BIWAKO SEIKEI SPORT COLLEGE

BIWAKO SEIKEI
SPORT COLLEGE

びわこ成蹊スポーツ大学

3-5. 背景濃度に応じた使用

シンボルマーク等の視認性を確保するため、
下記に示すように背景濃度に応じてカラーを使い分けてください。



3-6. 住所・部署との併記組み合わせ

住所などの連絡先を加える場合は下記の例を参考にしてください。
書体はヒラギノ角ゴシックなど標準的なゴシック体を推奨します。

学部名、部署名がある場合

4-1. コンセプト

建学の精神に通じる「人間力」への想いを込め、人という文字を花びらにデザイン化し、
それが集まって咲く桃の花をエンブレム化しています。
広く生い茂る桃の葉をイメージした緑色は幅広い学科（いわば知の森）という特性を表現しています。

基本形シグネチュア

OSAKA SEIKEI COLLEGE

大阪成蹊短期大学

4-2. シグネチュア

基本形シグネチュア以外のシンボルマークとロゴタイプの組み合わせは下記のいずれかを使用するものとします。
原則としてこれ以外の組み合わせを作成、使用することはできません。
また、シンボルマークとロゴタイプを個別に拡大・縮小することもできません。
シンボルマーク・ロゴタイプ単体での使用はできるだけ避け、原則セットで使用します。

和文シグネチュア

大阪成蹊短期大学

和文＋英文シグネチュア

大阪成蹊短期大学
OSAKA SEIKEI COLLEGE

英文シグネチュア

OSAKA SEIKEI
COLLEGE

縦表記・和文シグネチュア

大阪成蹊短期大学

4-3. 配置

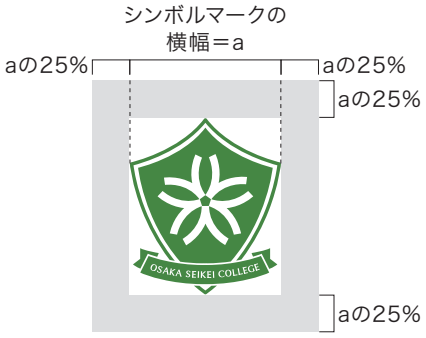
シンボルマーク等の視認性を確保するため以下の規定を守ってください。

アイソレーションエリア

シンボルマーク等を配置する際は、シンボルマーク等への干渉を防ぐため最小限確保すべき余白（アイソレーションエリア）を規定しています。
原則として他の要素をこの余白内に配置しないようにしてください。
ただし、部局などの名称、連絡先と組み合わせる場合や、限られたスペースに配置する必要があり、
かつ視認性が十分に確保できる場合はこの規定は適用されません。

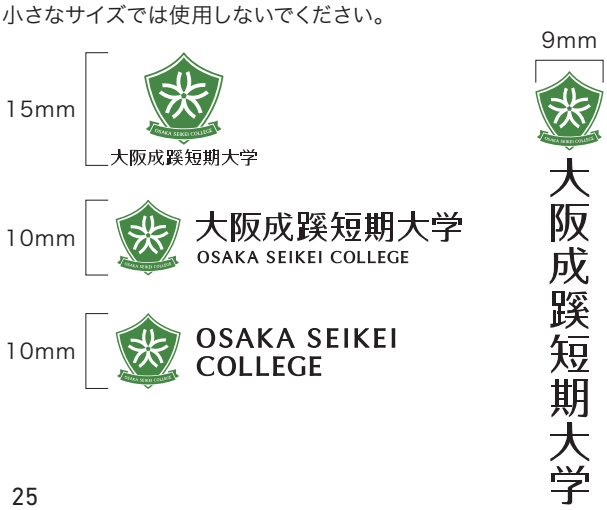
■ 全て、シンボルマークの横幅の25%の余白を四方にとることとします。

シンボルマーク単体の場合



最小サイズ

シンボルマーク等の視認性を確保するため、下記の最小使用サイズより
小さなサイズでは使用しないでください。



4-4. 基本カラー

基本はシンボルマークをシンボルカラー、ロゴタイプを黒とします。

シンボルカラー

プロセスカラー／
C80% M35% Y100% K0%
特色／
DIC 249

ロゴタイプカラー

プロセスカラー／
C0% M0% Y0% K100%
特色／
DIC 582

※使用の際はカラーチップも併せてご確認ください

基本カラー

シンボルカラーのみ

カラー背景 白抜き

モノクロ背景 白抜き

4-5. 背景濃度に応じた使用

シンボルマーク等の視認性を確保するため、
下記に示すように背景濃度に応じてカラーを使い分けてください。

	カラー背景	モノクロ背景	
10%	大阪成蹊短期大学 大阪成蹊短期大学	大阪成蹊短期大学 大阪成蹊短期大学	10%
25%	大阪成蹊短期大学 大阪成蹊短期大学	大阪成蹊短期大学 大阪成蹊短期大学	25%
50%	大阪成蹊短期大学 大阪成蹊短期大学	大阪成蹊短期大学 大阪成蹊短期大学	50%
75%	大阪成蹊短期大学 大阪成蹊短期大学	大阪成蹊短期大学 大阪成蹊短期大学	75%
100%	大阪成蹊短期大学 大阪成蹊短期大学	大阪成蹊短期大学	100%

4-6. 住所・部署との併記組み合わせ

住所などの連絡先を加える場合は下記の例を参考にしてください。
書体はヒラギノ角ゴシックなど標準的なゴシック体を推奨します。

学科名、部署名がある場合

5-1. コンセプト

建学の精神に通じる「人間力」への想いを込め、人という文字を花びらにデザイン化し、
それが集まって咲く桃の花をエンブレム化しています。
桃色のカラーは、「女性ならではの教育」にこだわりながらも、今の時代の女性像を追究する姿勢を表現しています。

基本形シグネチュア

OSAKA SEIKEI GIRLS' HIGH SCHOOL

大阪成蹊
女子高等学校

5-2. シグネチュア

基本形シグネチュア以外のシンボルマークとロゴタイプの組み合わせは下記のいずれかを使用するものとします。
原則としてこれ以外の組み合わせを作成、使用することはできません。
また、シンボルマークとロゴタイプを個別に拡大・縮小することもできません。
シンボルマーク・ロゴタイプ単体での使用はできるだけ避け、原則セットで使用します。

和文シグネチュア

大阪成蹊女子高等学校

和文＋英文シグネチュア

大阪成蹊女子高等学校
OSAKA SEIKEI GIRLS' HIGH SCHOOL

英文シグネチュア

OSAKA SEIKEI
GIRLS' HIGH SCHOOL

縦表記・和文シグネチュア

大阪成蹊女子高等学校

5-3. 配置

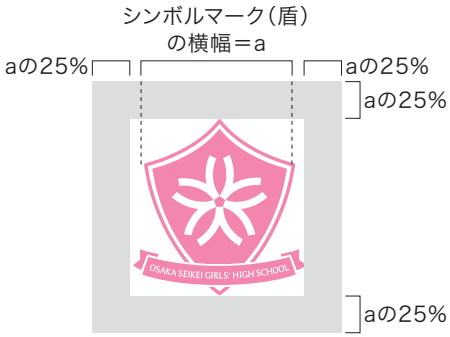
シンボルマーク等の視認性を確保するため以下の規定を守ってください。

アイソレーションエリア

シンボルマーク等を配置する際は、シンボルマーク等への干渉を防ぐため最小限確保すべき余白（アイソレーションエリア）を規定しています。
原則として他の要素をこの余白内に配置しないようにしてください。
ただし、部局などの名称、連絡先と組み合わせる場合や、限られたスペースに配置する必要があり、
かつ視認性が十分に確保できる場合はこの規定は適用されません。

■ 全て、シンボルマーク（盾）の横幅の25%の余白を四方にとることとします。

シンボルマーク単体の場合



最小サイズ

シンボルマーク等の視認性を確保するため、下記の最小使用サイズより小さなサイズでは使用しないでください。

5-4. 基本カラー

基本はシンボルマークをシンボルカラー、ロゴタイプを黒とします。

シンボルカラー

プロセスカラー／
C0% M60% Y5% K0%
特色／
DIC 266

ロゴタイプカラー

プロセスカラー／
C0% M0% Y0% K100%
特色／
DIC 582

※使用の際はカラーチップも併せてご確認ください

基本カラー

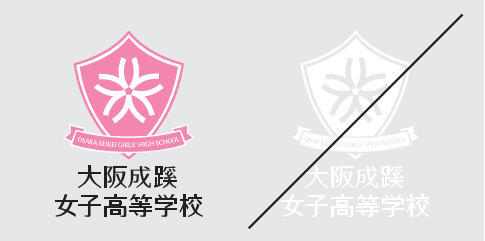
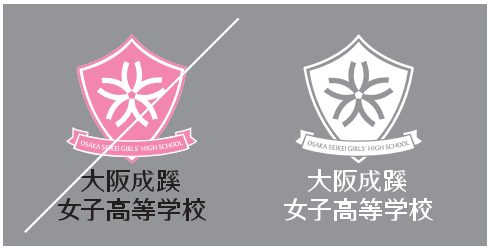
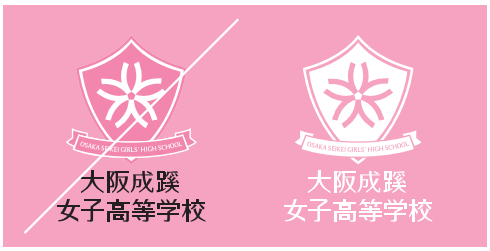
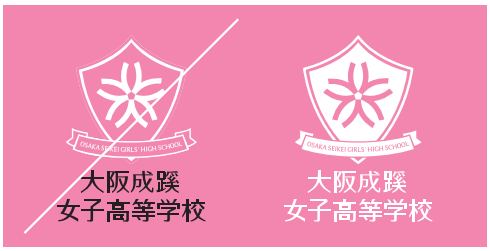
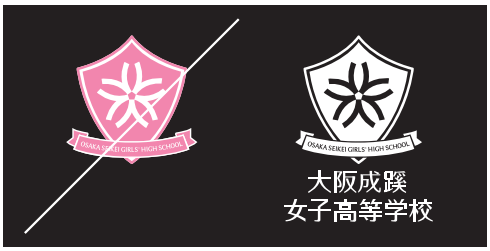
シンボルカラーのみ

カラー背景 白抜き

モノクロ背景 白抜き

5-5. 背景濃度に応じた使用

シンボルマーク等の視認性を確保するため、
下記に示すように背景濃度に応じてカラーを使い分けてください。

	カラー背景	モノクロ背景	
10%			10%
25%			25%
50%			50%
75%			75%
100%			100%

5-6. 住所・部署との併記組み合わせ

住所などの連絡先を加える場合は下記の例を参考にしてください。
書体はヒラギノ角ゴシックなど標準的なゴシック体を推奨します。

科名・コース名、部署名がある場合

5-7. SSマークの使用について

大阪成蹊女子高等学校で使用されている「SS」マークについては、
制服・クラブユニフォーム・スクールバッグ、およびオープンスクールにおける各種グッズ等において使用することとします。

6-1. コンセプト

建学の精神に通じる「人間力」への想いを込め、人という文字を花びらにデザイン化し、
それが集まって咲く桃の花をエンブレム化しています。
園児たちの明るさと輝き、さらには見守る先生方のあたたかなやさしさをオレンジに近いイエローで表現しています。

基本形シグネチュア

KOMICHI KINDERGARTEN

大阪成蹊短期大学附属
こみち幼稚園

6-2. シグネチュア

基本形シグネチュア以外のシンボルマークとロゴタイプの組み合わせは下記のいずれかを使用するものとします。
原則としてこれ以外の組み合わせを作成、使用することはできません。
また、シンボルマークとロゴタイプを個別に拡大・縮小することもできません。
シンボルマーク・ロゴタイプ単体での使用はできるだけ避け、原則セットで使用します。

和文シグネチュア

大阪成蹊短期大学附属
こみち幼稚園

縦表記・和文シグネチュア

大阪成蹊短期大学附属
こみち幼稚園

和文＋英文シグネチュア

大阪成蹊短期大学附属
こみち幼稚園
KOMICHI KINDERGARTEN

英文シグネチュア

KOMICHI
KINDERGARTEN

6-3. 配置

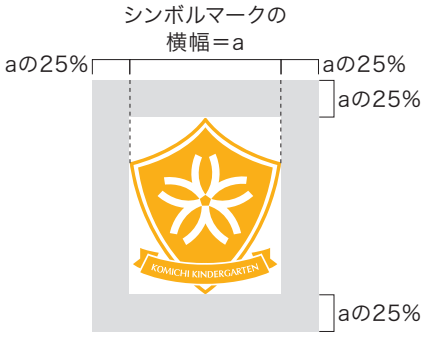
シンボルマーク等の視認性を確保するため以下の規定を守ってください。

アイソレーションエリア

シンボルマーク等を配置する際は、シンボルマーク等への干渉を防ぐため最小限確保すべき余白（アイソレーションエリア）を規定しています。
原則として他の要素をこの余白内に配置しないようにしてください。
ただし、部局などの名称、連絡先と組み合わせる場合や、限られたスペースに配置する必要があり、
かつ視認性が十分に確保できる場合はこの規定は適用されません。

■ 全て、シンボルマークの横幅の25%の余白を四方にとることとします。

シンボルマーク単体の場合



最小サイズ

シンボルマーク等の視認性を確保するため、下記の最小使用サイズより小さなサイズでは使用しないでください。

6-4. 基本カラー

基本はシンボルマークをシンボルカラー、ロゴタイプを黒とします。

シンボルカラー

プロセスカラー／
C0% M35% Y100% K0%
特色／
DIC 206

ロゴタイプカラー

プロセスカラー／
C0% M0% Y0% K100%
特色／
DIC 582

※使用の際はカラーチップも併せてご確認ください

基本カラー

シンボルカラーのみ

カラー背景 白抜き

モノクロ背景 白抜き

6-5. 背景濃度に応じた使用

シンボルマーク等の視認性を確保するため、
下記に示すように背景濃度に応じてカラーを使い分けてください。

	カラー背景	モノクロ背景	
10%			10%
25%			25%
50%			50%
75%			75%
100%			100%

6-6. 住所との併記組み合わせ

住所などの連絡先を加える場合は下記の例を参考にしてください。
書体はヒラギノ角ゴシックなど標準的なゴシック体を推奨します。

7. 全校併記の場合

学園名、校名を新聞広告等で全校併記する場合、シンボルマークは表記せず、学章と各ロゴタイプのみとします。

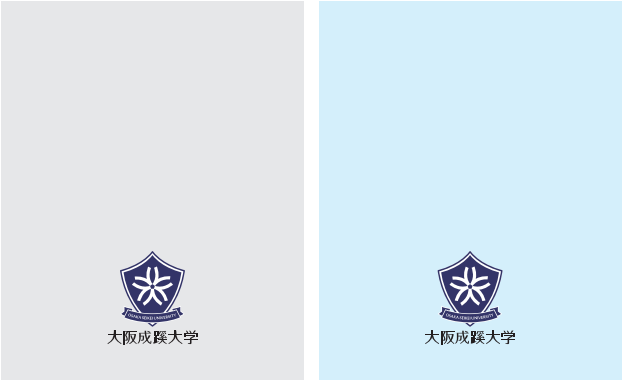
新聞広告例（全段の場合）

新聞広告例（半段の場合）

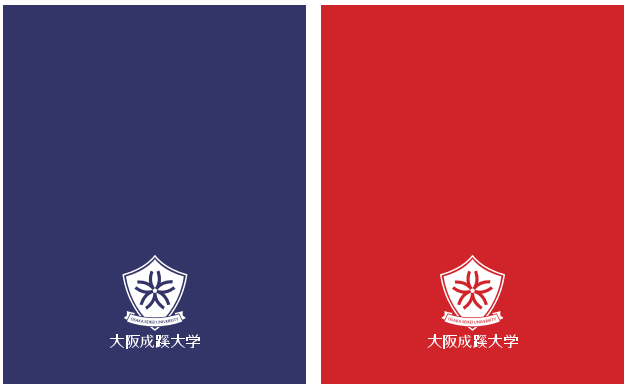
8. 背景別推奨方法

学章やシンボルマーク等を色や地紋、写真の上に配置する際は
なるべく薄い色や、無地に近い場所に配置するようにしてください。

カラー背景の場合



背景色が影響を与えないカラーの場合は、
シンボルカラーで展開してください。



背景色がシンボルカラーや濃い色の場合は
白抜きで展開してください。

パターン、地紋、写真の場合

濃いパターンや地紋の入った背景にシンボルマーク等を入れることはできません。
無地のスペースを作る、もしくは影響を与えない濃度までコントラストを下げて配置してください。

背景が写真の場合はできるだけ無地のスペース、もしくはコントラストを下げるなどの処理をしたスペースに
配置してください。濃い色調の写真の場合は白抜きで展開してください。

9. 表示禁止例

学章やシンボルマーク等の正しいブランドイメージを伝達するため、
下記のような使用を禁止します。

学園 学章の場合

学章とロゴタイプの位置・組み方を
変えてはいけません

学章の表現を
変えてはいけません

長体・平体・斜体などの
変形を加えてはいけません

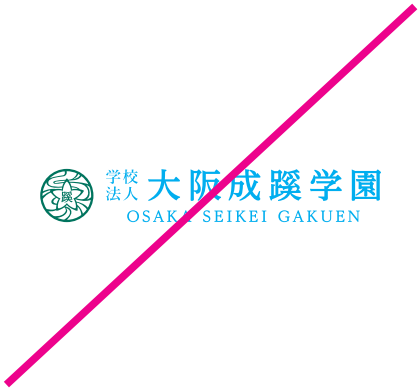
学章やロゴタイプを
回転させてはいけません

ロゴタイプの書体を
変更してはいけません

ロゴタイプの文字間を
変更してはいけません

フチや、影、3D化など
特殊な加工を加えてはいけません

背景に煩雑な地紋やグラデーションを
入れてはいけません



指定カラー以外に
変更してはいけません

シンボルマーク等の場合

シンボルマークとロゴタイプの
位置・組み方を変えてはいけません

シンボルマークの表現を
変えてはいけません

長体・平体・斜体などの
変形を加えてはいけません

シンボルマークやロゴタイプを
回転させてはいけません

ロゴタイプの書体を
変更してはいけません

ロゴタイプの文字間を
変更してはいけません

フチや、影、3D化など
特殊な加工を加えてはいけません

背景に煩雑な地紋やグラデーションを
入れてはいけません

指定カラー以外に
変更してはいけません

学校法人 大阪成蹊学園

Brand Design Manual

2018年7月7日発行

学校法人 大阪成蹊学園

〒533-0007　大阪市東淀川区相川3丁目10-62
電話 (06)6829-2606（広報企画本部）
FAX (06)6829-2747
Email：kouhou@osaka-seikei.ac.jp

学校法人
大阪成蹊学園
〒533-0007 大阪市東淀川区相川3丁目10-62